

## プレゼントの折り紙



年 組 ( )

ハナは、部屋でこっそりと折り紙を折っていた。

なぜ、こっそりとやっているかって？

それは、この折り紙が、お母さんの誕生日プレゼントだからだ。

お母さんによろこんでもらいたいので、ペン立てをつくることにした。ペン立ては、作るのがちょっとむずかしいけれども、きっと役に立つはずだ。

「ハナー。ご飯、できたわよー。」

お母さんの声が出た。でも、あと少しなのだ。

「はい、今行くよー。」

返事をしてから、ふたたび始めた。最後まで仕上げたおもう。

「この、角のところの折り目がむずかしいんだよな——。でも、ここをがんばらないと、変な形になっちゃうし——。」

バン！

突然とびらが開いた。

ハナは後ろをふりかえった。お母さんがおこった顔で立っていた。

「もう。スープが冷めちゃうじゃない！ 何やっているの

よ！」

あわててハナは、折り紙をかくした。

「そんな、折り紙でばかり遊んで——。ちょっとくらい、勉強でもしたらどうなの？」

ハナは、折り紙に目を落とした。

そして、ふたたびお母さん

の顔を見た。



ハナは、お母さんに何とすべきでしょうか。あなたの考えと理由を書きましょう。

.....
.....

話し合っ考えたことを書きましょう。

.....
.....